

様式第4号 (第5条関係)



政務活動費収支報告書

令和5年3月23日

(あて先) 飯能市議会議長

議員氏名 野口 和彦

飯能市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり令和4年度の政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入 政務活動費 180,000円
2 支出 87,500円

(単位:円)

科目	金額	備考
調査研究費		
研修費	87,500	第84回全国都市問題会議
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
その他の経費		
合計	87,500	

3 残額 92,500円

- (注)
- 1 備考欄には、支出の内訳を記載すること。
 - 2 領収書その他支出を証する書類の写しを添付すること。
 - 3 政務活動費収支報告書に係る政務活動事業実績報告書を添付すること。

政務活動事業実績報告書

議員氏名 野口 和彦

飯能市議会政務活動費の交付に関する規則第5条第2項の規定により、令和4年度政務活動費に係る事業実績報告書を次のとおり提出します。

月 日	事業名	事業概要及び成果等
10月12日～ 10月14日	第84回全国都市問題会議	<p>【第84回全国都市問題会議】 全国都市問題会議は全国市長会が主催となり、全国から地方自治体の首長や議員が出席し都市の課題について考える会議です。今年には全国から約2千人の出席があり、飯能市からは新井市長ほか6名の市議会議員が参加を致しました。</p> <p>以下 都市問題会議概要詳細</p> <p>主催：全国市長会、(公財)後藤・安田記念東京都市研究所、(公財)日本都市センター、長崎市 協賛：(公財)全国市長会館 開催期日：令和4年10月13日(木)・14日(金) 会場：出島メッセ長崎 (JR長崎駅西口前) 議題：個性を活かして『選ばれる』まちづくり～何度も訪れたい場所になるために～</p> <p>日程 《第1日》10月13日(木) 9:30 「開会式」 9:50 「基調講演」(株)ジャパネットHD代表取締役社長兼CEO 高田 旭人氏 11:00 「主報告」長崎県長崎市長 田上 富久氏 12:10 「昼休憩」 13:30 「一般報告」島根県立大学地域政策学部准教授 田中 照美氏 14:30 「休憩」 14:50 「一般報告」山形県山形市長 佐藤 孝弘氏 15:50 「一般報告」(一社)地域力創造デザインセンター代表理事 高尾 忠志氏</p>

		<p><u>17:00</u> 「終了」</p> <p>《第2日》 <u>10月14日(金)</u></p> <p><u>9:30</u> 「パネルディスカッション」</p> <p>[コーディネーター] 東京都立大学法学部教授 大杉 覚氏</p> <p>[パネリスト] ゆとり研究所所長 野口 智子氏 山梨大学生命環境学部教授 田中 敦氏 NPO 法人長崎コンプラドール理事長 桐野 耕一氏 岐阜県飛騨市長 都竹 淳也氏 兵庫県伊丹市長 藤原 保幸氏</p> <p><u>11:50</u> 「閉会式」</p> <p>今年のテーマは『個性を生かして「選ばれる」まちづくり』であり、様々な立場の登壇者から取り組み事例等の報告がなされました。</p> <p>特に、初日の</p> <ul style="list-style-type: none">・ ジャパネット HD 代表取締役社長兼 CEO 高田旭人氏の基調講演での、三菱重工業長崎造船所幸町工場跡地にサッカースタジアム、商業施設オフィス、ホテルが組み合わさった大型複合施設を建設するスポーツ地域創生事業「長崎スタジアムシティプロジェクト」において、長崎市と連携協力をしつつ、行政ではできない発想を民間が主体となり提案実施し、官民の役割分担を明確化して事業を展開すべきという点。・ 長崎県長崎市長田上富久氏の主報告での長崎市は「景観」をまちの文化度を示す指標として重要視し、景観の整備に重きを置いた「景観まちづくり」を推進しており、良好な景観形成に向けた様々な取り組みを行なっている点、またこれらを担当部署間で連携をし職員協働でおこなうことで職員の育成につながっている点。・ 島根県立大学地域政策学部准教授田中照美氏の人口減少が避けられない中において関係人口、「観光
--	--	---

		<p>以上、「定住未満」の層を増やす為の戦略と事例の紹介。</p> <p>等は、飯能市は平成 29 年に景観行政団体になったこともあり、今後の景観計画を定めていくうえで大変参考になりました。</p> <p>2 日目のパネルディスカッションでは、</p> <p>「個性を活かして選ばれるまちづくり」をテーマに東京都立大学法学部教授大杉覚氏がコーディネーターを務め、パネリストから各地域における様々な事例の紹介がありました。また大杉教授から、選ばれるまちづくりの基本とは</p> <ul style="list-style-type: none">・ 先ず幸せであること。・ 暮らしの中での様々な体験があること。・ 行政の幸せづくりへのサポートが充実していること <p>であるとの発表があり大変感銘を受けました。</p> <p>以上二日間に渡り、第 84 回全国都市問題会議は多くの事例を学ぶ機会となりました。ここで得た知識を飯能市のまちづくりに反映できるよう引き続き尽力して参ります。</p>
--	--	---

(注) 使途基準の項目別に記載すること。